

平成28年度活動一覧

月	日	活 動 内 容	月	日	活 動 内 容	
4	6	第1回センタースタッフ打合せ	10	5	第23回センタースタッフ打合せ	
	13	第2回センタースタッフ打合せ		12	第24回センタースタッフ打合せ	
	20	第3回センタースタッフ打合せ		18	平成28年度国立大学法人等情報化発表会 (名古屋大学)	
	21	東京大学スーパーコンピューティング専門委員会		19	第25回センタースタッフ打合せ	
	27	第4回センタースタッフ打合せ		23	法定停電	
5	11	第5回センタースタッフ打合せ		26	第26回センタースタッフ打合せ	
	18	第6回センタースタッフ打合せ		11	2	第27回センタースタッフ打合せ
6	1	第7回センタースタッフ打合せ			9	第28回センタースタッフ打合せ
	8	第8回センタースタッフ打合せ			14	第1回情報メディア基盤センター会議
	10	CTC打合せ			16	第29回センタースタッフ打合せ
	15	第9回センタースタッフ打合せ	16		情報セキュリティ講習会(利用者向け)	
	22	第10回センタースタッフ打合せ	12		30	第30回センタースタッフ打合せ
24	第12回 国立大学法人情報系センター協議会 総会・第13回センター長懇談会 (京都工芸繊維大学)	2		最先端共同HPC基盤施設 スーパーコンピュータシステム Oakforest-PACS 運用開始記念式典(東京大学柏キャンパス)		
29	第11回センタースタッフ打合せ	7		第31回センタースタッフ打合せ		
7	6	東京大学情報基盤センター データ解析・シミュレーション融合スーパーコンピュータシステム(Reedbush)説明会		7	CAUAシンポジウム2016(都内)	
	13	第12回センタースタッフ打合せ		14	第32回センタースタッフ打合せ	
	20	第13回センタースタッフ打合せ		21	第33回センタースタッフ打合せ	
	27	第14回センタースタッフ打合せ	1	11	第34回センタースタッフ打合せ	
8	3	第15回センタースタッフ打合せ		18	第35回センタースタッフ打合せ	
	10	第16回センタースタッフ打合せ		25	第36回センタースタッフ打合せ	
	24	第17回センタースタッフ打合せ	2	1	第37回センタースタッフ打合せ	
	24	情報セキュリティ講習会(管理者向け)		3	第2回情報メディア基盤センター会議	
	31	第18回センタースタッフ打合せ		8	第38回センタースタッフ打合せ	
9	6	情報セキュリティ講習会(利用者向け)		15	第39回センタースタッフ打合せ	
	7	第19回センタースタッフ打合せ		22	第40回センタースタッフ打合せ	
	14	第20回センタースタッフ打合せ	3	1	第41回センタースタッフ打合せ	
	21	第21回センタースタッフ打合せ		8	第42回センタースタッフ打合せ	
	26-27	第11回国立大学法人情報系センター研究集会/第20回学術情報処理研究集会(滋賀大学)		15	第43回センタースタッフ打合せ	
	28	第22回センタースタッフ打合せ		16-18	情報処理学会第79回全国大会(名古屋大学)	
		22		第44回センタースタッフ打合せ		
		29		第45回センタースタッフ打合せ		

平成 28 年度研究会・研修会等参加報告

Interop Tokyo 2016

日 程：6 月 16 日(木)

会 場：幕張メッセ

参加者：小川康一

内 容：主にネットワークを中心とした機器の情報収集を行った。ネットワークに関する最新の技術に触れ、今後の本学の情報基盤システム導入の参考にした。

国立大学法人情報系センター協議会

日 程：6 月 24 日(金)

会 場：京都工芸繊維大学

参加者：伊藤和人 小川康一

内 容：研究集会・分科会では、他大学の先進的な取り組みについて確認した。金沢大学よりシングルサインオンに Felica 学生証とパスワードを組み合わせる多要素認証の取り組みが紹介された。センター長懇談会ではライセンス管理を議題として、マイクロソフト社ライセンスの学内調査や包括契約の状況が話し合われた。総会では、各地区報告により他大学の現状や取り組みを確認した。

平成 28 年度第 2 回情報処理学会インターネットと運用技術研究会(IOT)

日 程：6 月 25 日(土)

会 場：京都工芸繊維大学

参加者：小川康一

内 容：研究開発を行っている監視手法について発表した。多数の質問や意見をいただき、今後の本学のシステムを検討する上で大変参考になった。また、他の研究者による運用管理に関する研究を聴講し質問することで、議論や理解を深めた。

CAUA FORUM 2016

日 程：7 月 14 日(木)

会 場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原

参加者：小川康一

内 容：講演の聴講を通じて他の大学の取り組みについて確認した。大変興味深い内容であった。また、ユーザー会に参加するメーカーや私大の教職員とも情報交換をはかった。

MATLAB×AWS 入門セミナー

日 程：9月20日(火)

会 場：秋葉原 UDX

参加者：小川康一

内 容：教育機関でのクラウド利用についての解説と事例について説明があった。

また、MATLAB を含めた研究用ソフトウェアのクラウドイメージについて紹介があった。MathWorks 社からは Machine Learning 関連の Toolbox の活用方法について解説があった。

第 11 回国立大学法人情報系センター研究集会及び第 20 回学術情報処理研究集会

日 程：9月26日(月)～9月27日(火)

会 場：滋賀医科大学

参加者：小川康一

内 容：他大学の情報系センターの教職員の先進的な取り組みについて、講演を通じて確認した。参加者間での情報交換を行った。

広帯域ネットワーク利用に関するワークショップ「ADVNET2016」

日 程：10月14日(金)

会 場：東京大学小柴ホール

参加者：小川康一

内 容：SINET5 の大容量ネットワークを活用した取り組みについて確認した。講演の聴講を通じて他の大学や企業の研究者の取り組みについて確認した。

平成 28 年度国立大学法人等情報化発表会

日 程：10月18日(火)

会 場：名古屋大学理学南館坂田・平田ホール

参加者：齋藤広宣

内 容：他大学の情報システムに関する取り組みに関する講演を聴講した。東京大学からは平成 28 年 6 月に職員用メールを Office365 に移行したことに関する講演がなされ、本学のメールシステム移行の参考とした。

東京農工大学総合情報メディアセンターシンポジウム

～大学における教育研究環境の変革と情報系センターのこれから～

日 程：11月25日(金)

会 場：東京農工大学小金井キャンパス

参加者：齋藤広宣 南雲浩二

内 容：他大学におけるBYOD化の実施、端末環境の仮想デスクトップ化、PC必携化、情報環境の構築整備、そして情報系センターの将来像に至るまで、全学的な取り組みから将来の教育研究システムを見据えた仕組みまで、本講演を通じて幅広く情報収集を行なった。

CAUA シンポジウム 2016

日 程：12月7日(水)

会 場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原

参加者：小川康一、佐藤甲輔

内 容：情報系センターについてのディスカッションの中で、パネリストとして小川が登壇、「今後の情報系センターに必要と思うこと」と題して講演を行った。他大学の参加者と議論を交わすとともに、会場の参加者からも活発な質疑応答があり、議論が大いに深まった。

電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会

日 程：1月27日(水)

会 場：機械振興会館

参加者：小川康一

内 容：講演の聴講を通じて他の大学や企業の研究者の取り組みについて確認した。

情報処理学会第79回全国大会

日 程：3月16日(木)～3月18日(土)

会 場：名古屋大学東山キャンパス

参加者：小川康一

内 容：講演の聴講を通じて他の大学や企業の研究者の取り組みについて確認した。

平成 28 年度講習会等開催報告

東京大学情報基盤センター スーパーコンピュータシステム説明会

開催日時：平成 28 年 7 月 6 日(水) 10:40 ～ 12:10

場 所：本学 総合研究棟 1F シアター教室

参加人数：25 名

講 師：東京大学情報基盤センター スーパーコンピューティング研究部門
伊田 明弘 特任准教授

対 象：本学の教職員および学生

内 容：データ解析・シミュレーション融合スーパーコンピュータシステム(Reedbush)の紹介

- 導入の背景
- Reedbush 概要
- スケジュール
- 運用・サービス
 - トークン制
 - 教育利用、若手利用
 - 企業利用
 - トライアルユース
- 試験運転期間のサービス
- その他・質疑応答



Reedbush についての詳細は東京大学情報基盤センターのホームページでご確認ください。

URL : <http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/system/reedbush/>

データ解析・シミュレーション融合 スーパーコンピュータシステム (Reedbush)利用説明会

開催日時：平成28年7月6日(水) 10:40～12:10

開催場所：総合研究棟1階 シアター教室

講師：東京大学情報基盤センター 伊田 明弘 特任准教授

データ解析・シミュレーション融合スーパーコンピュータシステム(Reedbush)はIntel社の最新のCPUであるXeon E5-2695v4とNVIDIA社の最新のGPUであるTesla P100(Pascal)から構成されています。



7月1日より試験運転を開始し、全系フル稼働開始は来年3月の予定です。

すでに東京大学スーパーコンピュータをご利用中の方はもとより、利用を検討されている方、ご興味のある方も是非お気軽にご参加ください。

【説明会概要】

- Reedbush概要
- スケジュール
- 運用・サービス
- 試験運転期間のサービス
- その他・質疑

【お申込先】埼玉大学情報メディア基盤センター

以下の書式を sinsei@ml.saitama-u.ac.jp宛に埼玉大学発行のアドレス(aaaaa@xxxx.saitama-u.ac.jp)より電子メールでお送りください。

件名:Reedbush説明会

- 1) 所属(学部・学科)
 - 2) 氏名
 - 3) 職位(学生の場合は学籍番号および所属研究室)
 - 4) メールアドレス(埼玉大学発行のアドレス以外は不可)
- 締切:7月4日(月)

情報セキュリティ講習会

埼玉大学では、平成 28 年度から始まる 3 か年の情報セキュリティ対策基本計画を策定し、情報セキュリティ強化に計画的に取り組むこととしています。それに基づき下記のとおり、役職者向け、一般利用者向けの情報セキュリティ講習会を開催しました。

役職者向け情報セキュリティ講習会

開催日時： 平成 28 年 8 月 24 日(木) 16:00 ~17:00
開催場所： 教養学部等 2 階会議室
講師： 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 関口 忠 氏
対象： 本学役職者
内容： 講演「大学等学校法人における情報セキュリティ対策」
参加人数： 32 名

一般利用者向け情報セキュリティ講習会(第一回)

開催日時： 平成 28 年 9 月 6 日(火) 15:30 ~17:00
開催場所： 全学講義棟 1 号館 301 講義室
講師： 埼玉県警察本部サイバー犯罪対策課 調査官 藤本 大介 氏
埼玉大学情報メディア基盤センター 専門技術員 齋藤 広宣
対象： 本学教職員
内容： 講演「サイバー犯罪の現状と対策」(藤本氏)
埼玉大学の情報セキュリティについて(齋藤)
参加人数： 66 名

一般利用者向け情報セキュリティ講習会(第二回)

開催日時： 平成 28 年 11 月 16 日(水) 15:30~17:00
開催場所： 全学講義棟 1 号館 207 講義室
講師： 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 関口 忠 氏
埼玉大学情報メディア基盤センター 専門技術員 齋藤 広宣
対象： 本学教職員
内容： 講演「サイバー攻撃にあわないために」(関口氏)
1) 情報セキュリティの取組の必要性
2) 大学における情報セキュリティインシデント辞令
3) サイバー攻撃の被害にあわないために
埼玉大学の情報セキュリティについて(齋藤)
参加人数： 40 名

情報セキュリティ講習会出題クイズ

■インターネット接続とウイルス感染編（全5問）

次に挙げる内容・行動が、インターネットセキュリティの観点から見て、正しければ◎、間違っていれば×を選択してください。

1. 大学のネットワークを管理する部署があれば、利用する職員はセキュリティを気にすることはなくインターネットを使うことができる。

◎ ×

2. 年末年始や夏季休暇などの長期の休み明けは、まず OS やセキュリティソフトのアップデートを行う。

◎ ×

3. 自分のパソコンがウイルスや不正プログラムの被害に感染した場合の対処として、間違っているものはどれか選択してください。

- 即座に LAN ケーブルを外す
- 速やかに関連部署に連絡する
- 速やかにネットワーク管理者に電話で報告する
- 即座にパソコンの電源を切る

4. 添付ファイル付のメールが届いた。心当たりはないが、件名や本文、添付ファイル名に具体的な会議名や業務に関連する内容が記されていれば開封する。

◎ ×

5. 業務上、いつも閲覧している Web サイトからウイルスに感染することもある。

◎ ×

■インターネット接続とウイルス感染編（全5問）－ 回答と解説

1. 大学のネットワークを管理する部署があれば、利用する職員はセキュリティを気にすることはなくインターネットを使うことができる。

◎ ×

☞ 大学におけるインターネットセキュリティは、利用者全体がセキュリティの意識を持っていないれば成り立ちません。たった一人の不注意によって、大学全体のパソコンやネットワーク、さらに取引先にまで影響を与えることもありますので、常にセキュリティの意識を持ちましょう。

2. 年末年始や夏季休暇などの長期の休み明けは、まず OS やセキュリティソフトのアップデートを行う。

◎ ×

☞ OS やアプリケーションがアップデートされていないパソコンでインターネットに接続するのは、脆弱性を狙った攻撃のターゲットになるので危険です。パソコンを立ち上げたら、まず OS やセキュリティソフトのアップデートを確認するよう心がけましょう。

また、ブラウザソフトをはじめインストールしている各ソフトの更新情報にも注意を払いましょう。

3. 自分のパソコンがウイルスや不正プログラムの被害に感染した場合の対処として、間違っているものはどれか。

- 即座に LAN ケーブルを外す
- 速やかに関連部署に連絡する
- 速やかにネットワーク管理者に電話で報告する
- 即座にパソコンの電源を切る

☞ 「即座に LAN ケーブルを外す」「速やかに関連部署に連絡する」「速やかネットワーク管理者に電話で報告する」については、ウイルスの被害が広がらないための処置を行っています。

「即座にパソコンの電源を切る」の場合、パソコンは常にログ情報を取得していますが、電源を切って再度電源を入れると、ウイルスや不正プログラムの痕跡が残ったログ情報も消えてしまう可能性があります。ウイルス感染時の行動は、まずウイルスに感染したと思われるパソコンをネットワークから切り離すことで感染が広がらないようにし、速やかに関連部署やネットワーク管理者へ報告しましょう。

4. 添付ファイル付のメールが届いた。心当たりはないが、件名や本文、添付ファイル名に具体的な会議名や業務に関連する内容が記されていれば開封する。

◎ ×

☞ 標的型サイバー攻撃の多くは、メールが起点になります。従業員に送りつけるメールの件名や本文、送信者名を偽装し、添付ファイルを業務上の有用なファイルに見せかけて開封させ、ウイルスに感染させようとします。一見業務に関連しそうなメールでも心当たりがなければ差出人に電話などで直接連絡し、安全を確認してからファイルを開封してください。

5. 業務上、いつも閲覧している Web サイトからウイルスに感染することもある。

◎ ×

☞ 第三者からの不正アクセスなどによって、普段見ていた安全な Web サイトが改ざんされてしまい、閲覧者がウイルスに感染する事例が起きています。セキュリティソフトを常に最新の状態に保ち、不正な Web サイトへの接続をブロックするなど、セキュリティの意識を持つことが望まれます。

■情報漏えい・犯罪（被害/加害）編（全5問）

次に挙げる内容・行動が、インターネットセキュリティの観点から見て、正しければ◎、間違っていれば×を選択してください。

1. 手元にある情報が個人情報であるか否かの識別がつかない場合でも、他の情報と照合する事で特定の個人を識別できるものは個人情報である。
 ◎ ×
2. 仕事が忙しく、自宅作業する必要があるれば、無断で USB メモリに仕事のデータをコピーして持ち帰るのは問題ない。
 ◎ ×
3. 許可を得て職場から持ち出したデータなら、ファイル共有ソフトを使っている自宅のパソコンで作業しても構わない。
 ◎ ×
4. 個人情報を含むファイルを全てごみ箱に移し「ごみ箱を空にする」で削除したので、このパソコンを知人に譲っても個人情報が漏えいする事はない。
 ◎ ×
5. 業務に必要な、通常は数万円するソフトウェアを無料で配布している掲示板を見つけ、さっそくダウンロードした。
 ◎ ×

■情報セキュリティ自己診断チェックリスト

内閣官房情報セキュリティセンターが公開している自己判断チェックリストがあります。理解しておくべき知識、対策、注意事項などがクイズ形式でまとめられており、自分が何を理解できていて、何を理解できていないのか、理解度を把握することができます。

時間のあるときにお試しいただき、情報セキュリティの向上に役立ててください。

情報セキュリティ自己診断チェックリスト：

http://www.nisc.go.jp/security-site/files/checklist_20120417_02.pdf

■情報漏えい・犯罪（被害/加害）編（全5問）－ 回答と解説

1. 手元にある情報が個人情報であるか否かの識別がつかない場合でも、他の情報と照合する事で特定の個人を識別できるものは個人情報である。

■ ◎ □ ×

☞ 個人が特定できなくても、他の情報と組み合わせて照合できれば、個人情報になります。名前だけ、生年月日だけ、あるいは住所だけの単体でも個人情報です。個々では本人の特定はできませんが、名前＋生年月日＋住所と組み合わせることにより、個人情報の特定が可能になります。

2. 仕事が忙しく、自宅作業する必要があるれば、無断で USB メモリに仕事のデータをコピーして持ち帰るのは問題ない。

□ ◎ ■ ×

☞ 業務データを社外に持ち出すことは禁じている企業や、持ち出す際には許可を必要とする企業は少なくありません。また、USB メモリ自体の使用を禁じている企業もあります。リムーバブルメディアはデータを持ち出すのには便利な反面、データを紛失してしまう危険性もありますので、取り扱いには充分注意しましょう。

本学の情報セキュリティポリシーとしては、USB メモリなどの外部記録媒体へ情報を保存する際、持ち出す情報の種類にもよりますが暗号化やパスワードを用いた保存方法を定めています。また、情報の持ち出しに関しましても規定がありますので、ご確認ください。

[情報セキュリティ対策実施手順書「情報格付け取扱手順」](#) (学内限定)

[7.3 外部記録媒体へ情報を保存する場合の保護方法](#)

[9. 情報の持ち出し](#)

3. 許可を得て職場から持ち出したデータなら、ファイル共有ソフトを使っている自宅のパソコンで作業しても構わない。

□ ◎ ■ ×

☞ Winny や Share などのファイル共有ソフトを通じて感染するウイルス（暴露ウイルス）が存在します。ファイル共有ソフトを通じて、機密情報が漏えいする事件も多数発生しています。企業によっては自宅でのファイル共有ソフトの使用を禁止しているところもあります。セキュリティソフトを使用している場合でも、ファイル共有ソフトを使っているパソコンで仕事の作業をするのは危険が伴いますので注意しましょう。

4. 個人情報を含むファイルを全てごみ箱に移し「ごみ箱を空にする」で削除したので、このパソコンを知人に譲っても個人情報が漏えいする事はない。

□ ◎ ■ ×

☞ 「ごみ箱を空にする」で削除した場合、論理アドレスを消去したにすぎないため、物理的に削除する必要があります。データそのものは HDD 上に物理的に存在するため復元が可能です。漏えいする危険性があります。データを消去する場合は、完全にデータを消去するソフトを使用するか、物理的にハードディスクを破壊する事が望ましいです。

5. 業務に必要な、通常は数万円するソフトウェアを無料で配布している掲示板を見つけ、さっそくダウンロードした。

□ ◎ ■ ×

☞ 不正に複製した著作権法違反のソフトウェアである可能性があります。このような不正に複製したソフトウェアは、配布した側はもちろんのこと、不正に複製されたものと知っていた場合、入手側も責任を問われる場合があります。

センター利用案内

情報メディア基盤センターでは、以下のシステムの管理運営を行っています。利用には申請が必要な場合がありますので、詳細はセンターの Web サイトを参照してください。

<http://www.itc.saitama-u.ac.jp>

1. 全学情報基盤システム = SERN(Saitama university Education and Research Network)

1) 全学統一認証アカウント

全学生および教職員に、学内のシステム利用に必要なアカウントの発行を行っています。このアカウントで、センターで提供している学内 LAN、Web メールシステム (Active! Mail)、全学情報教育システムの利用、および学内の各部局で管理運営している様々なシステムへのログインが可能となります。

2) 各種ホスティングサービス

3) メーリングリストサービス

4) 代表メールアドレス (組織メールアドレス)

5) ハウジングサービス

6) 全学情報教育システム

ネットブート方式および仮想デスクトップ方式の計 280 台の Windows 端末と 7 台の課金プリンタを配置し、講義および自習利用に供しています。

7) アンチウィルスソフトウェア (Sophos Endpoint Security and Control)

全学生および教職員が利用できるウィルス対策ソフトを提供しています。センターの Web サイトからインストーラーをダウンロードして利用できます。

8) 研究用ソフトウェア

平成 29 年 2 月末まで研究や情報メディア端末室での講義に利用できるソフトウェアを有償で提供しました。

2. 証明書発行サービス

国立情報学研究所の「UPKI 電子証明書自動発行サービス」を利用して、必要なサーバ証明書の発行を受けることができます。

3. 東京大学スーパーコンピュータの利用

パーソナルコースの利用について、一部利用料金の負担と申請手続きを行っています。

4. 大判プリンタ

B0 サイズまで印刷可能なプリンタを利用できます。

5. Microsoft 包括契約ライセンス

埼玉大学では、平成 28 年 4 月よりマイクロソフトと包括ライセンス契約(EES: Enrollment for Education Solution)を締結しています。これにより Office ソフトやクライアントアクセスライセンス等のマイクロソフト製品を利用できるようになっています。またこれに付随する特典としてマイクロソフトのクラウドサービス Office 365 Education を利用することができます。実際のご利用にあたっては、情報メディア基盤センターが窓口を担当しております。

利用できる製品は下記の通りです。

● 教職員のみ

➤ Microsoft Office(ボリュームライセンス版)

- ◇ Office Professional 2016 for Windows 64/32bit
- ◇ Office Professional 2013 for Windows 64/32bit
- ◇ Office Professional 2010 for Windows 64/32bit
- ◇ Office for Mac 2016
- ◇ Office for Mac 2010

➤ Microsoft Windows OS(アップグレードライセンス版)

- ◇ Windows10 Enterprise Edition/Professional Edition 64/32bit
- ◇ Windows 8.1 Enterprise Edition/Professional Edition 64/32bit
- ◇ Windows 7 Enterprise Edition/Professional Edition 64/32bit

実際の利用にあたってはセンターホームページを参照してください

http://www.itc.saitama-u.ac.jp/modules/pico/MS4-Office_VL.html

http://www.itc.saitama-u.ac.jp/modules/pico/MS5-WIn_UPG.html

● 学生および教職員

➤ Office365 Education(クラウドサービス)

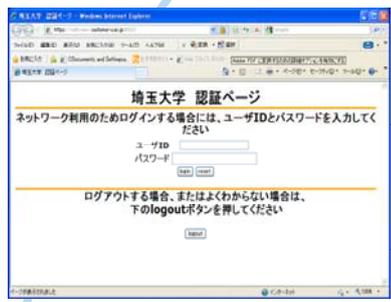
- ◇ Office365 メール
- ◇ Office365 Proplus(※印は Windows のみ)
 - ・ Word
 - ・ Excel
 - ・ Powerpoint
 - ・ OneNote
 - ・ Outlook
 - ・ Publisher(※)
 - ・ Access(※)
 - ・ Skype For Business(旧 Lync)(※)
 - ・ OneDrive(1TB のストレージ)

実際の利用にあたってはセンターホームページを参照してください

<http://www.itc.saitama-u.ac.jp/modules/pico/MS3-365ProPlus.html>

SERN

Saitama University Education and Research Network
(全学情報基盤システム)



有線認証画面



メールログイン画面



学内無線 LAN



全学統一認証アカウント



ウィルス対策ソフト
SOPHOS

全学情報教育システム



ネットブート端末



仮想デスクトップ端末



課金プリンタ

研究用ソフトウェア
(平成 29 年 2 月末まで)



MATLAB



Marc
Marc/Mentat
Nastran
Patran



STAR-CD

Mathematica

- ◆ホスティングサービス
 - ・メールホスティング
(平成 29 年 3 月より外部委託)
 - ・Web ホスティング
 - ・DNS ホスティング ・DB ホスティング
- ◆メーリングリストサービス
- ◆代表メールアドレス
(組織メールアドレス)
- ◆ハウジングサービス

インターネット

UPKI 電子証明書発行サービス

東大スーパーコンピュータ

マイクロソフト包括ライセンス契約

- ・Microsoft Office(ボリュームライセンス版)
- ・Microsoft Windows OS
(アップグレードライセンス版)
- ・Office365 Education(クラウドサービス)



大判プリンタ×2台

平成 28 年度東京大学スーパーコンピュータ利用報告

所 属	職 名	氏 名	課 題
書名または発表論文の標題			
大学院理工学研究科 数理電子情報部門 情報領域	教授	重原孝臣	行列の種々の標準形に対する数値計算 アルゴリズムの並列化手法の検討
<p>【研究内容】 本研究室では、正方行列の対角化・シューア標準形・ジョルダン標準形、非正方行列の特異値分解、行列束のクロネッカ標準形など、行列ないしは行列束に対する種々の標準形に関して、標準形の存在に関する構成的証明の構築、それに基づく数値計算アルゴリズムの設計およびプログラム実装・評価、プログラムの高精度化・高速化、アルゴリズムの並列化手法の検討およびスーパーコンピュータをはじめとする並列計算機への実装・評価、実装したプログラムの種々の応用問題への適用などに取り組んでいる。本研究では、このうち、多分割分割統治法に基づく実対称固有値問題・特異値分解、ジョルダン標準形・基底、クロネッカ標準形・基底を求める（ないしは解く）ためのアルゴリズムに関する並列化手法の検討、スーパーコンピュータへの実装・評価を行っている。</p> <p>【研究成果または経過】 今年度は、主として、(1) 実数演算のみを用いて実正方行列の実ジョルダン標準形・基底を計算するためのアルゴリズムの設計・実装・評価、(2) クロネッカ標準形・基底の応用として、2つの平面代数曲線の交点を高精度に求めるためのアルゴリズムの設計・実装・評価、(3) 実対称固有値問題に対する多分割の分割統治法において固有ベクトルを高速・高精度に計算するためのアルゴリズムの設計・実装・評価を行った。逐次処理レベルのアルゴリズムの検討が中心でしたが、今後、並列化手法の検討をしたいと考えております。</p>			
理工学研究科 物質基礎	教授	吉永尚孝	質量数 130 領域の原子核構造の解明と シッフモーメントの評価
<p>【研究内容】 電気双極子モーメント (EDM) は大きく有限な測定値が得られると、素粒子の標準模型を超えた物理の明確な証拠となる。重い原子核において電荷と双極子モーメントの密度分布が異なれば、シッフモーメントと呼ばれる物理量を通じ、原子に EDM を生み出す。現在、シッフモーメントの理論計算は海外の幾つかのグループにより行われているが、平均場近似に基づいているため計算の信頼性は低い。また、原子の EDM の探索実験は、幾つかの原子に対して上限値が得られているに過ぎない。そこで、本研究では平均場を超えた核子対殻模型により、質量数 130 領域の原子核構造の精密計算を行うと共に、シッフモーメントの系統的に評価する。</p> <p>【研究成果または経過】 殻模型を用いて質量数 130 領域の核構造の解析を行った。特に、^{136}La 原子核においてアイソマーの構造を明らかにし、論文にまとめた。</p> <p>【研究成果を公表した場合、題目、発表者名、掲載誌名、公表日等】 Large-scale shell model study of the newly found isomer in ^{136}La E. Teruya, N. Yoshinaga, K. Higashiyama, H. Nishibata, A. Odahara, and T. Shimoda Phys. Rev. C 94, 014317 – Published 21 July 2016</p>			

平成28年度 障害・メンテナンス状況

月日	障害/メンテナンス	内容	原因	対処
4月14日	メンテナンス	教育システム端末が動作不安定の為、メンテナンスを実施		
5月2日	メンテナンス	メールシステム、DNSホスティングのメンテナンス		
6月23日	メンテナンス	情報メディア端末室（1）（2）の設備メンテナンス		
8月9日	メンテナンス	ファイアウォールメンテナンス		
8月10日	障害	メールチェックのシステムにおいて、一部のメールが誤ってウイルス有りと判定され、ブロックされる事象が発生。	迷惑メールチェックシステムにおいて不具合が発生	誤ってブロックされたメールは8/12午前中までに配信済み
9月7日	障害	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障害日時：9/7（水）13:47-14:46 ごろ ■ 障害内容：アクセス不可 ■ 対象となったシステム ・ 電子メールのメール送受信(@mail.saitama-u.ac.jp) ・ Webメール(Active!mail) ・ メールングリストサービス(@ml.saitama-u.ac.jp) ・ 代表メールサービス(@gr.saitama-u.ac.jp) ・ メールホスティングサービス ・ データベースホスティングサービス ・ 情報メディア基盤センターホームページ 	データセンターにおける通信機器の不具合	
9月25日	メンテナンス	データセンターの通信機器交換を午前1時～午前2時に実施		
11月25日	メンテナンス	学内無線LANのサービス 11/25（金）8:30～10:00ごろ 停止		
12月5日	メンテナンス	DNSホスティングサーバ 12月5日（月）16:00～17:00 停止		
2月28日	メンテナンス	DNSホスティングサーバ 2月28日（火）12:00～13:00 停止		
3月17日	機器更新	DNS設定凍結：3月16日（木）9:00～更新作業終了まで DNSホスティング停止：3月17日（金）12:00～18:00		

平成28年度インストール済ソフトウェア一覧

平成28年度情報メディア端末室(共通イメージ)並びに教育学部・経済学部・図書館端末にインストール済のソフトウェアは以下の通りです。OSはWindows7です。×は未インストールを表します

2017.3.13現在

分類	ソフト名	バージョン (メディア 端末室)	バージョン (教育学部他)	備考
統合開発環境	MicroSoft Visual Studio Express	2012,2013	2012	要Microsoftアカウント
ライブラリ	OpenNI,KinectSDK	対象外	対象外	機械工学科用
統計処理ソフト	R	2.15.3	2.15.3	
Rの開発環境	R Commander	1.9-6	1.9-6	
Rの統合開発環境	Rstudio	0.98	0.98	
子供向け教育用プログラミング言語 環境	Scratch	1.4	1.4	
	Scratch1.4+stemdu01	1.4	1.4	
	WinScratch1.4+stemdu02	1.4	×	
	Scratch2.0が動くためのFlash最新版	24.0.0.221	23.0.0.162	
	Scratch1.4拡張版(なのぼーどAG2 モーター、Arduino Leonard対応版)	1.4	1.4	
3Dプログラミング環境	Alice2.3	2.3.3	2.3.3	
Arduino	arduino-1.0.5-r2-stemdu10.zip	1.0.5-r2	1.0.5-r2	
	arduino-1.0.5-r2-stemdu12.zip	1.0.5-r2	1.0.5-r2	
	Arduino Leonard用infファイル	○	×	
	arduino-1.6.7-windows.exe	○	×	
言語開発環境	Processing	1.5.1, 2.1.1	1.5.1	
BASIC言語	10進BASIC	V7.61	V7.61	
2次元グラフ作成ツール	Ngraph	6.03.53	6.03.53	
3Dソフト	Google Earth	7.1.2.2041	6.1	
	Google SketchUp	×	8.0	開発終了
	SketchUp2014	14	×	GoogleSketchupの後継
	SketchUp Make 2015	15.3.331	×	
	SketchUp Make 2017	17.2.2555	×	
CADソフト	JWCAD	8.02b	×	機械工学科用
	PRO/Engineer	対象外	対象外	機械工学科用
PDFファイル閲覧ソフト	Adobe Reader	11.0.19	11.0.17	
Webコンテンツ表示プラグイン	Adobe Flash Player	24.0.0.221	23.0.0.162	
Webブラウザ	Firefox	45	44.0.2	
分子生物学ソフト	ClustalX	2.1, 1.83	2.1	
	TreeView	1.6.6	1.6.6	
系統樹表示ソフト	njplot	2.3	2.3	
画像処理ソフト	ImageJ	1.45	1.45	
UNIX風環境実現ツール	Cygwin	2.6.0	1.7.35	インストール済パッケージは cygcheck -c でご確認いただけま
ライブラリ	LAPACK	3.4.0	3.4.0	
	OpenCV	1.1pre1	1.1pre1	
テキストエディタ	Terapad	1.08	1.08	
マルチメディアコンテンツ再生ソフト	Windows Media Player	12	12	
統合開発環境	ECLIPSE	3.7 SR2	3.7 SR2	
統合ビジネスソフト	LibreOffice	4.1.4.2	4.2.2.1	
	Microsoft Office Standard	2010	2010	Excelソルバー、分析ツール
ファイル転送ソフト	Filezilla	3.7.4.1	3.8.1	
	WinSCP	5.5.4	5.5.4	
ファイル圧縮・解凍ソフト	Lhaplus	1.59	1.59	
マインドマップ作成ソフト	FreeMind	×	0.9	
数学・科学向け教育ソフト	Microsoft Mathematics	4	4	
デジタルオーディオエディタ	Audacity	2	2.0.2	
Java開発キット	Java JDK	1.7.0_51	1.7.0_51	
Java実行環境	JRE	Ver8 Up121	Ver8 Up101	
ドライバ	PL-2303 Driver	1.6.0	×	
開発環境	Borland C++ Compiler + Cpad for Borland C++Compiler	5.5.1	5.5.1	
数値計算システム	Scilab	5.5.1	×	
数式処理システム	maxima-clisp	5.37.3	5.37.3	
動的数学ソフトウェア	GeoGebra	5.0.207	5.0.207	
汎用プログラミング言語	Python3	×	3.5(32bit)	
数式処理システム	Mathematica (H29.2提供終了)	9.0.1	×	専用イメージ。要申請
数値解析ソフト	MATLAB	2013b,2015a 2016b	×	専用イメージ。要申請

平成28年度情報メディア端末室利用実績(1学期)

時限	曜日	月				火				水				木				金				
		部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数
1限 (9:00~10:30)	情報メディア 端末室(1)													メンテナンス (不定期・端末室3、4とは同時に実施しません)	教育	家庭電気・機械・ 情報処理	工藤	20	理工研	構造振動の実践シミュ レーション	党	30
	情報メディア 端末室(2)	教育	情報基礎 (中学校力)	野村 星名	60	教育	情報基礎 (特・養)	野村 緒方	60						メンテナンス (不定期・端末室1、2とは同時に実施しません)	工学部 機械	数値解析 I	金子				
	情報メディア 端末室(3)																					
	情報メディア 端末室(4)																					
2限 (10:40~12:10)	情報メディア 端末室(1)									理工研	エネルギー変換材料	長谷川	5	メンテナンス (不定期・端末室3、4とは同時に実施しません)	教育	情報数理	白石	20				
	情報メディア 端末室(2)	教育	情報基礎 (中学校キ)	野村 星名	60	教育	メディアと学習支援	野村	60						メンテナンス (不定期・端末室1、2とは同時に実施しません)	教養	情報基礎	内木				
	情報メディア 端末室(3)									理学部 数学科 物理	情報基礎	荒井	80			工学部 建設	情報基礎	谷山	85			
	情報メディア 端末室(4)																					
3限 (13:00~14:30)	情報メディア 端末室(1)					理学部 物理	物理学実験 II	山口	15	理学部 物理	物理学実験 II	山口	15									
	情報メディア 端末室(2)					理学部 数学科	計算機概論 I	戸野	45	理工研 前期	課題解決型 特別演習A	新井	30									
	情報メディア 端末室(3)					教育	情報基礎 (中学校ク)	野村 緒方	60	工学部 応化	情報基礎	太刀川	65									
	情報メディア 端末室(4)																					
4限 (14:40~16:10)	情報メディア 端末室(1)					理学部 物理	物理学実験 II	山口	15	理学部 物理	物理学実験 II	山口	15									
	情報メディア 端末室(2)													工学部 機材	情報処理演習	石川	57					
	情報メディア 端末室(3)	経済	情報基礎 (第1クラス)	鹿子木	79									経済	情報基礎 (第3クラス)	鹿子木	75					
	情報メディア 端末室(4)																					
5限 (16:20~17:50)	情報メディア 端末室(1)																		工学部 電電	数値解析と アルゴリズム演習	間邊	70
	情報メディア 端末室(2)													工学部 機材	情報処理演習	石川	57					
	情報メディア 端末室(3)	経済	情報基礎 (第2クラス)	鹿子木	78									経済	情報基礎 (第4クラス)	鹿子木	75					
	情報メディア 端末室(4)																					
6限 (18:00~19:30)	情報メディア 端末室(1)																					
	情報メディア 端末室(2)																					
	情報メディア 端末室(3)																					
	情報メディア 端末室(4)																					

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

4/13(水) 基礎生物学実験(理学部分子生物) 是枝 45名

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成28年度情報メディア端末室利用実績(2学期/夏季休暇・前期補講期間)

時限	曜日	月				火				水				木				金					
		部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	
1限 (9:00~10:30)	情報メディア 端末室(1)													メンテナンス (不定期・端末室3, 4とは同時に実施しません)	教育	家庭電気・機械・ 情報処理	工藤	20	理工研	構造振動の実践シミュ レーション	党	30	
	情報メディア 端末室(2)	教育	情報基礎 (中学校力)	野村 星名	60	教育	情報基礎 (特・養)	野村 緒方	60						メンテナンス (不定期・端末室1, 2とは同時に実施しません)	工学部 機械	数値解析 I	金子		110			
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						
2限 (10:40~12:10)	情報メディア 端末室(1)									理工研	エネルギー変換材料	長谷川	5	メンテナンス (不定期・端末室3, 4とは同時に実施しません)	教育	情報数理	白石	20					
	情報メディア 端末室(2)	教育	情報基礎 (中学校キ)	野村 星名	60	教育	メディアと学習支援	野村	60						メンテナンス (不定期・端末室1, 2とは同時に実施しません)	教養	情報基礎	内木		50			
	情報メディア 端末室(3)									理学部 数学科 物理	情報基礎	荒井	80			工学部 建設	情報基礎	谷山	85				
	情報メディア 端末室(4)																						
3限 (13:00~14:30)	情報メディア 端末室(1)					理学部 物理	物理学実験 II	山口	15	理学部 物理	物理学実験 II	山口	15										
	情報メディア 端末室(2)					理学部 数学科	計算機概論 I	戸野	45	理工研 前期	課題解決型 特別演習A	新井	30										
	情報メディア 端末室(3)					教育	情報基礎 (中学校ク)	野村 緒方	60	工学部 応化	情報基礎	太刀川	65										
	情報メディア 端末室(4)																						
4限 (14:40~16:10)	情報メディア 端末室(1)	経済	アカデミック・スキルズ (第1クラス)	渡辺	76	理学部 物理	物理学実験 II	山口	15	理学部 物理	物理学実験 II	山口	15										
	情報メディア 端末室(2)													工学部 機械	情報処理演習	石川	57						
	情報メディア 端末室(3)	工学部 機械	情報基礎	頼田 前田	110																		
	情報メディア 端末室(4)																						
5限 (16:20~17:50)	情報メディア 端末室(1)	経済	アカデミック・スキルズ (第2クラス)	渡辺	76	経済	アカデミック・スキルズ (第3クラス)	渡辺	76	経済	アカデミック・スキルズ (第4クラス)	渡辺	76							工学部 電電	数値解析と アルゴリズム演習	間邊	70
	情報メディア 端末室(2)													工学部 機械	情報処理演習	石川	57						
	情報メディア 端末室(3)	工学部 機械	情報基礎	頼田 前田	110	工学部 電電	情報基礎	内田(秀)	90					工学部 電電	情報基礎	内田(秀)	90						
	情報メディア 端末室(4)																						
6限 (18:00~19:30)	情報メディア 端末室(1)																						
	情報メディア 端末室(2)																						
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

8/24(水)・8/26(金) 終日 教員免許更新講習 端末室1, 2利用

9/6(火) 終日 理学部 生物学実験A(教職科目) 端末室1利用

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成28年度情報メディア端末室利用実績(3学期)

時限	曜日	月				火				水				木				金				
		部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数
1限 (9:00~ 10:30)	情報メディア 端末室(1)																					
	情報メディア 端末室(2)					教育	情報基礎 (小学校ウ)	野村 緒方	60													
	情報メディア 端末室(3)																					
	情報メディア 端末室(4)																					
2限 (10:40~ 12:10)	情報メディア 端末室(1)																					
	情報メディア 端末室(2)	理学部 数学科		計算機概論Ⅱ	戸野	45																
	情報メディア 端末室(3)																					
	情報メディア 端末室(4)																					
3限 (13:00~ 14:30)	情報メディア 端末室(1)	理学部 分子生物 生体制御		情報基礎	戸野	80	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15								
	情報メディア 端末室(2)						教育	情報基礎 (小学校工)	野村 緒方	60												
	情報メディア 端末室(3)	工学部		工学入門セミナーWG	小林	35	理学部 基礎化 および 過年度 学生	情報基礎	戸野	80												
	情報メディア 端末室(4)																					
4限 (14:40~ 16:10)	情報メディア 端末室(1)						工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15								
	情報メディア 端末室(2)						教育	情報基礎 (小学校オ)	野村 緒方	60				工学部 建設	数値解析学演習	ルアン・ヤオ	50					
	情報メディア 端末室(3)	工学部		工学入門セミナーWG	小林	35	工学部 機械	機械設計演習	琴坂 程島	20								工学部 電電	プログラミング演習	長谷川 (有) 門馬	100	
	情報メディア 端末室(4)	教育		情報基礎 (小学校ア)	野村 星名	60																
5限 (16:20~ 17:50)	情報メディア 端末室(1)						工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15								
	情報メディア 端末室(2)													工学部 機材	情報基礎	白井	60	工学部	科学技術と知的財産	北島	80	
	情報メディア 端末室(3)	工学部		工学入門セミナーWG	小林	35	工学部 機械	機械設計演習	琴坂 程島	20	工学部 機械	プログラミング演習	武沢	110				工学部 電電	プログラミング演習	長谷川 (有) 門馬	100	
	情報メディア 端末室(4)	教育		情報基礎 (小学校イ)	野村 星名	60																
6限 (18:00~ 19:30)	情報メディア 端末室(1)																					
	情報メディア 端末室(2)																					
	情報メディア 端末室(3)																					
	情報メディア 端末室(4)																					

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

11/10(木) 4限 図書館 Scopus説明会 端末室3、4利用

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成28年度情報メディア端末室利用実績(4学期)

時限	曜日	月				火				水				木				金				
		部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数
1限 (9:00~10:30)	情報メディア 端末室(1)																					
	情報メディア 端末室(2)					教育	情報基礎 (小学校ウ)	野村 緒方	60													
	情報メディア 端末室(3)																					
	情報メディア 端末室(4)																					
2限 (10:40~12:10)	情報メディア 端末室(1)																					
	情報メディア 端末室(2)	理学部 数学科		計算機概論Ⅱ	戸野	45																
	情報メディア 端末室(3)																					
	情報メディア 端末室(4)																					
3限 (13:00~14:30)	情報メディア 端末室(1)	理学部 分子生物 生体制御		情報基礎	戸野	80	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15								
	情報メディア 端末室(2)						教育	情報基礎 (小学校工)	野村 緒方	60	理工研 前期	課題解決型 特別演習B	新井	30								
	情報メディア 端末室(3)	工学部		工学入門セミナーWG	小林	35	理学部 基礎化 および 過年度 学生	情報基礎	戸野	80												
	情報メディア 端末室(4)																					
4限 (14:40~16:10)	情報メディア 端末室(1)						工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15								
	情報メディア 端末室(2)						教育	情報基礎 (小学校イ)	野村 緒方	60	工学部 建設	数値解析学演習	ルアン・ヤオ	50								
	情報メディア 端末室(3)	工学部		工学入門セミナーWG	小林	35													工学部 電電	プログラミング演習	長谷川 (有) 門馬	100
	情報メディア 端末室(4)	教育		情報基礎 (小学校ア)	野村 星名	60																
5限 (16:20~17:50)	情報メディア 端末室(1)						工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15					工学部	科学技術と知的財産	北島	80
	情報メディア 端末室(2)													工学部 機材	情報基礎	白井	60					
	情報メディア 端末室(3)	工学部		工学入門セミナーWG	小林	35																
	情報メディア 端末室(4)	教育		情報基礎 (小学校イ)	野村 星名	60					工学部 機械	プログラミング演習	武沢	110					工学部 電電	プログラミング演習	長谷川 (有) 門馬	100
6限 (18:00~19:30)	情報メディア 端末室(1)																					
	情報メディア 端末室(2)																					
	情報メディア 端末室(3)																					
	情報メディア 端末室(4)																					

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

11/28(月)1限、11/29(火)1~2限、12/1(木)1~2限、12/2(金)1~2限 英語教育開発センター General English Skills1 / Academic English Skills2 端末室3利用

12/1(木)3~5限 理学部 生物学実験B(古館) 端末室4利用

12/13(火)4限 図書館 講習会 Web of Science 端末室3利用

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成29年度情報メディア端末室利用予定(1学期)

時限	曜日	月				火				水				木				金					
		部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	
1限 (9:00~10:30)	情報メディア 端末室(1)													メンテナンス(不定期) 端末室3、4とは同時には実施しません	教育	家庭電気・機械・ 情報処理	工藤	20	理工研 前期	構造振動の実践 シミュレーション(JE)	党	30	
	情報メディア 端末室(2)	教育	情報基礎 (中学校力乳)	野村 星名	60	教育	情報基礎 (特・養)	野村 権淵	60						メンテナンス(不定期) 端末室1、2とは同時には実施しません	工学部機 械	数値解析 I	金子		110			
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						
2限 (10:40~12:10)	情報メディア 端末室(1)													メンテナンス(不定期) 端末室3、4とは同時には実施しません					教養	情報基礎	内木	50	
	情報メディア 端末室(2)	教育	情報基礎 (中学校キ)	野村 星名	60	教育	メディアと学習支援	野村	60						メンテナンス(不定期) 端末室1、2とは同時には実施しません	工学部 建設	情報基礎	古里		85			
	情報メディア 端末室(3)									理学部 数学科 物理	情報基礎	荒井	80										
	情報メディア 端末室(4)																						
3限 (13:00~14:30)	情報メディア 端末室(1)					理学部 物理	物理学実験2	山口	10	理学部 物理	物理学実験2	山口	10	メンテナンス(不定期) 端末室3、4とは同時には実施しません	経済	アカデミックスキルズ (第4クラス)	渡邊	75					
	情報メディア 端末室(2)					理学部 数学科	計算機概論 I	戸野	45	理工研	課題解決型特別演習 A (4/19以降)	新井	45										
	情報メディア 端末室(3)					教育	情報基礎 (中学校ク)	野村 権淵	60	工学部 応化	情報基礎	太刀川	67		メンテナンス(不定期) 端末室1、2とは同時には実施しません								
	情報メディア 端末室(4)																						
4限 (14:40~16:10)	情報メディア 端末室(1)	経済	情報基礎 (第1クラス)	鹿子木	75	理学部 物理	物理学実験2	山口	10	理学部 物理	物理学実験2	山口	10		工学部 機材	情報処理演習	石川	52					
	情報メディア 端末室(2)																						
	情報メディア 端末室(3)					工学部 建設	建設工学製図	小嶋	85	経済	アカデミックスキルズ (第2クラス)	渡辺	75	経済	アカデミックスキルズ (第3クラス)	渡邊	75						
	情報メディア 端末室(4)																						
5限 (16:20~17:50)	情報メディア 端末室(1)	経済	アカデミックスキルズ (第1クラス)	渡辺	75	経済	情報基礎 (第2クラス)	鹿子木	75						工学部 機材	情報処理演習	石川	52	工学部 電電	数値解析と アルゴリズム演習	間邊	70	
	情報メディア 端末室(2)																						
	情報メディア 端末室(3)					工学部 建設	建設工学製図	小嶋	85	経済	情報基礎 (第3クラス)	鹿子木	75	経済	情報基礎 (第4クラス)	鹿子木	75						
	情報メディア 端末室(4)																						
6限 (18:00~19:30)	情報メディア 端末室(1)																						
	情報メディア 端末室(2)																						
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

4/12(水) 3~5限:基礎生物学実験(理学部分子生物) 是枝 45名 端末室2利用

5/8(月) 5限:調査統計特論(理工学研究科) 小嶋 8名 端末室3利用

4/17(月) 1限、4/18(火) 1,2限、4/20(木) 1,2限:General English Skills/Academic English Skills2(英語教育開発センター) イアリーテレンス 45名 端末室3利用

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成29年度情報メディア端末室利用予定(2学期/夏季休暇・前期補講期間)

時限	曜日	月				火				水				木				金			
		部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員
1限 (9:00~10:30)	情報メディア 端末室(1)													メンテナンス(不定期) 端末室3, 4とは同時には実施しません				教育	家庭電気・機械・ 情報処理	工藤	20
	情報メディア 端末室(2)	教育	情報基礎 (中学校力乳)	野村 星名	60	教育	情報基礎 (特・養)	野村 権淵	60									理工研 前期	構造振動の実践 シミュレーション(JE)	党	30
	情報メディア 端末室(3)													メンテナンス(不定期) 端末室1, 2とは同時には実施しません				工学部機 械	数値解析 I	金子	110
	情報メディア 端末室(4)																				
2限 (10:40~12:10)	情報メディア 端末室(1)													メンテナンス(不定期) 端末室3, 4とは同時には実施しません							
	情報メディア 端末室(2)	教育	情報基礎 (中学校キ)	野村 星名	60	教育	メディアと学習支援	野村	60									教養	情報基礎	内木	50
	情報メディア 端末室(3)									理学部 数学科 物理	情報基礎	荒井	80	メンテナンス(不定期) 端末室1, 2とは同時には実施しません				工学部 建設	情報基礎	古里	85
	情報メディア 端末室(4)																				
3限 (13:00~14:30)	情報メディア 端末室(1)					理学部 物理	物理学実験2	山口	10	理学部 物理	物理学実験2	山口	10	メンテナンス(不定期) 端末室3, 4とは同時には実施しません							
	情報メディア 端末室(2)					理学部 数学科	計算機概論 I	戸野	45	理工研	課題解決型特別演習A	新井	45								
	情報メディア 端末室(3)					教育	情報基礎 (中学校ク)	野村 権淵	60	工学部 応化	情報基礎	太刀川	67	メンテナンス(不定期) 端末室1, 2とは同時には実施しません							
	情報メディア 端末室(4)																				
4限 (14:40~16:10)	情報メディア 端末室(1)					理学部 物理	物理学実験2	山口	10	理学部 物理	物理学実験2	山口	10								
	情報メディア 端末室(2)												工学部 機材	情報処理演習	石川	52					
	情報メディア 端末室(3)	工学部 機械	情報基礎	鞆田 前田	110	工学部 電電	情報基礎	内田(秀)	90				工学部 電電	情報基礎	内田(秀)	90					
	情報メディア 端末室(4)																				
5限 (16:20~17:50)	情報メディア 端末室(1)																	工学部 電電	数値解析と アルゴリズム演習	間邊	70
	情報メディア 端末室(2)												工学部 機材	情報処理演習	石川	52					
	情報メディア 端末室(3)	工学部 機械	情報基礎	鞆田 前田	110																
	情報メディア 端末室(4)																				
6限 (18:00~19:30)	情報メディア 端末室(1)																				
	情報メディア 端末室(2)																				
	情報メディア 端末室(3)																				
	情報メディア 端末室(4)																				

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

8/22(火)・8/23(水) 終日 総合キャリアセンターSU 免許状更新講習 野村 60名/80名 端末室3, 4利用

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成29年度情報メディア端末室利用予定(3学期)

時限	曜日	月				火				水				木				金					
		部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	
1限 (9:00~10:30)	情報メディア 端末室(1)																						
	情報メディア 端末室(2)					教育	情報基礎 (小学校ウ)	野村 権淵	60														
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						
2限 (10:40~12:10)	情報メディア 端末室(1)																						
	情報メディア 端末室(2)	理学部 数学科	計算機概論Ⅱ	戸野	45																		
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						
3限 (13:00~14:30)	情報メディア 端末室(1)					工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15										
	情報メディア 端末室(2)	工学部	工学入門セミナーWG	福田	35	教育	情報基礎 (小学校エ)	野村 権淵	60	理工研	課題解決型特別演習B	新井	45										
	情報メディア 端末室(3)	理学部 分子生物 生体制御	情報基礎	戸野	80	理学部 基礎化 および 過年度学 生	情報基礎	戸野	80														
	情報メディア 端末室(4)																						
4限 (14:40~16:10)	情報メディア 端末室(1)					工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15										
	情報メディア 端末室(2)	工学部	工学入門セミナーWG	福田	35	教育	情報基礎 (小学校オ)	野村 権淵	60					工学部 建設	数値解析学演習	ルアン・ヤオ	50						
	情報メディア 端末室(3)					工学部 機械	機械設計演習	琴坂 程島	20										工学部 電電	プログラミング演習	長谷川 (有)	100	
	情報メディア 端末室(4)	教育	情報基礎 (小学校ア)	野村 星名	60																		
5限 (16:20~17:50)	情報メディア 端末室(1)					工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15										
	情報メディア 端末室(2)	工学部	工学入門セミナーWG	福田	35									工学部 機材	情報基礎	白井	50	工学部	科学技術と知的財産	北島	80		
	情報メディア 端末室(3)					工学部 機械	機械設計演習	琴坂 程島	20	工学部 機械	プログラミング演習	武沢	110					工学部 電電	プログラミング演習	長谷川 (有)	100		
	情報メディア 端末室(4)	教育	情報基礎 (小学校イ)	野村 星名	60																		
6限 (18:00~19:30)	情報メディア 端末室(1)																						
	情報メディア 端末室(2)																						
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

日程未定(木):3~5限 理学部生体制御学科 生物学実験B(古館) 43名

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成29年度情報メディア端末室利用予定(4学期)

時限	曜日	月				火				水				木				金					
		部屋名称	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	学部	開講科目名	担当教員	人数	
1限 (9:00~10:30)	情報メディア 端末室(1)																						
	情報メディア 端末室(2)					教育	情報基礎 (小学校ウ)	野村 権淵	60														
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						
2限 (10:40~12:10)	情報メディア 端末室(1)																						
	情報メディア 端末室(2)	理学部 数学科		計算機概論Ⅱ	戸野	45																	
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						
3限 (13:00~14:30)	情報メディア 端末室(1)					工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15										
	情報メディア 端末室(2)	工学部		工学入門セミナーWG	福田	35	教育	情報基礎 (小学校エ)	野村 権淵	60	理工研	課題解決型特別演習B	新井	45									
	情報メディア 端末室(3)	理学部		情報基礎	戸野	80	理学部 基礎化 および 過年度学 生	情報基礎	戸野	80													
	情報メディア 端末室(4)	理学部 分子生物 生体制御																					
4限 (14:40~16:10)	情報メディア 端末室(1)					工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15										
	情報メディア 端末室(2)	工学部		工学入門セミナーWG	福田	35	教育	情報基礎 (小学校オ)	野村 権淵	60					工学部 建設	数値解析学演習	ルアン・ヤオ	50					
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)	教育		情報基礎 (小学校ア)	野村 星名	60													工学部 電電	プログラミング演習	長谷川 (有)	100	
5限 (16:20~17:50)	情報メディア 端末室(1)					工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15	工学部 機材	機能材料工学実験Ⅲ	柿崎	15										
	情報メディア 端末室(2)	工学部		工学入門セミナーWG	福田	35								工学部 機材	情報基礎	白井	50	工学部	科学技術と知的財産	北島	80		
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)	教育		情報基礎 (小学校イ)	野村 星名	60					工学部 機械	プログラミング演習	武沢	110					工学部 電電	プログラミング演習	長谷川 (有)	100	
6限 (18:00~19:30)	情報メディア 端末室(1)																						
	情報メディア 端末室(2)																						
	情報メディア 端末室(3)																						
	情報メディア 端末室(4)																						

授業時間中は、一般利用の方は、入室できません。

日程未定(木):3~5限 理学部生体制御学科 生物学実験B(古館) 43名

開講科目名が空欄の時限は、一般開放時間。ただし、新たに授業が入る場合がありますので、掲示に注意してください。

平成 28 年度教育システム有料ソフトウェア利用状況

情報メディア基盤センターでは、平成 29 年 2 月末まで下記のソフトウェアについてライセンス契約を結び、教育および研究利用に供しました。

【平成 29 年 2 月末までの運用内容】

平成 24 年度から原則として、ソフトウェアにかかる経費を利用者負担としました。

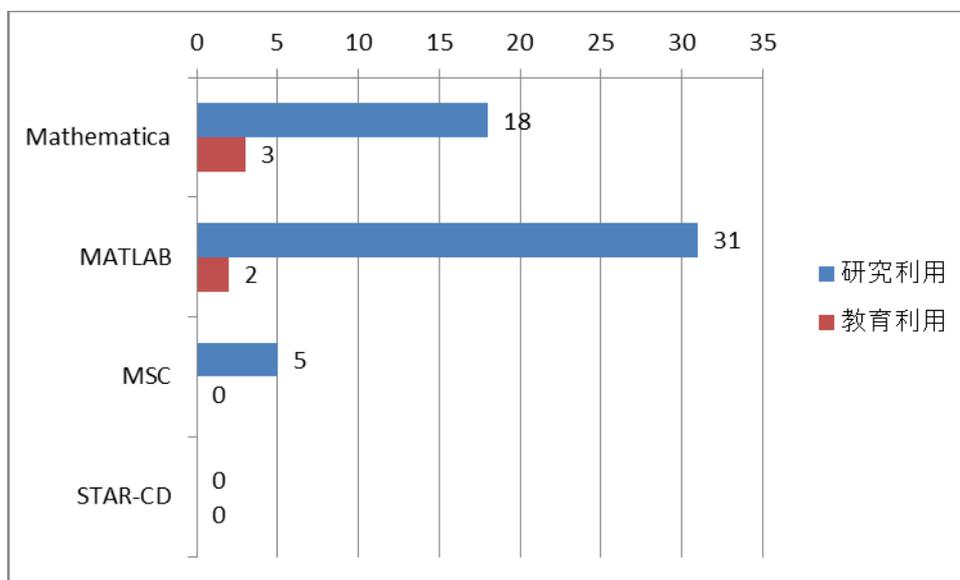
課金単位としての「利用者」は、教育利用の場合は科目(講義番号)ごとに、研究利用の場合は研究室ないし講座ごとに 1 利用者と数えます。

なお、利用者の多いソフトは全学的に利用があるものと考え、当センターと利用者との間で負担を分担しています。

【対象ソフトウェアと利用金額】

Mathematica	20,000 円/年
MATLAB およびツールボックス(プラグイン)	10,000 円/年
STAR-CD	90,000 円/年
MSC (MARC/Mentat,Nastran,PATRAN)	75,000 円/年

各ソフトウェアの利用用途別「利用者」数は以下の通りです。



(平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月末)

平成 28 年度 ソフトウェア別・学部学科別利用状況

ソフトウェア名	学部	学科	利用者数	学部別 小計	合計
Mathematica	工学部	環境共生学科	1	14	21
		機械工学科	6		
		機能材料工学科	2		
		建設工学科	4		
		情報システム工学科	0		
		電気電子システム工 学科	1		
	理学部	基礎化学科	2	7	
		数学科	2		
		物理学科	3		
MATLAB	工学部	応用化学科	2	29	33
		環境共生学科	2		
		機械工学科	8		
		建設工学科	6		
		情報システム工学科	7		
		電気電子システム工 学科	4		
	理学部	基礎化学科	3	4	
		生体制御学科	1		
MSC	工学部	環境共生工学科	1	5	5
		機械工学科	2		
		建設工学科	2		

※ 理学部・工学部には理工学研究科が含まれます

平成 28 年度研究用ソフトウェア利用実績 (H28.4～H29.2)

Mathematica

【論文】

- Mioko Otsuka, Hiroki Terakado, Ryoei Homma, Yasuhiro Hasegawa, Md. Zahidul Islam, Georg Bastian, Alexander Stuck, “Thermal diffusivity measurement using thermographic method and performance evaluation by impedance spectroscopy for thermoelectric module”, Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 55, 126601 pp.1-7 (2016).
- Masayuki Murata, Atsushi Yamamoto, Yasuhiro Hasegawa, Takashi Komine, “Experimental and theoretical evaluations of the galvanomagnetic effect in an individual bismuth nanowire” , Nano Letters, Vol. 17(1), pp.110-119 (2017).
- Mioko Otsuka, Ryoei Homma, Yasuhiro Hasegawa, “Estimation of phonon and carrier thermal conductivities for bulk thermoelectric materials using transport properties” , Journal of Electronic Materials, Vol. 46, pp.2752 (2017)

MATLAB およびツールボックス(プラグイン)

【学術発表等】

- M. Ohira, T. Kato, and Z. Ma, "Novel microstrip realization and straightforward design of fully canonical Cul-de-Sac coupling bandpass filters," 2016 IEEE MTT-S Int. Microwave Symp., San Francisco, CA, May 2016.
- K. Sato, M. Ohira, and Z. Ma, "Design of multistage microstrip filtering antenna by using parameter extraction method," Proc. of 2016 Thailand-Japan MicroWave (TJMW2016), Bangkok, Thailand, June 2016.
- R. Tomita, M. Ohira, and Z. Ma, "A simple and fast tuning technique for direct-coupled resonator filter design," Proc. of 2016 Thailand-Japan MicroWave (TJMW2016), Bangkok, Thailand, June 2016.
- M. Ohira, "Microwave planar bandpass filter design for student design competition," Tutorial Session of 2016 Thailand-Japan MicroWave (TJMW2016), Bangkok, Thailand, June 2016.

- Kuniyuki Kugenuma, Takashi Komuro, Bo Zhang, Keiichiro Kagawa, Shoji Kawahito, "High-sensitivity Imaging using a Multi-aperture Camera Based on Image Synthesis with Disparity Compensation," Proc. 2017 International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT 2017) (2017) IWAIT 2017 Best Paper Award 受賞

【論文/講演要旨集】

- M. Ohira, K. Yamanaka, and Z. Ma, "A new design formula of coupling coefficient between antenna and resonator for efficient design of filtering antenna," *IEICE Trans. Electron.*, vol.E99-C, no.7, pp.744-750 (2016).
- 富田 諒, 大平昌敬, 馬 哲旺, 王 小龍, "入出力線路の損失を考慮した低 Q マイクロ波帯域通過フィルタの結合行列抽出法," 2016 年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, エレクトロニクス, C-2-35, p.45 (2016).
- M. Ohira, T. Kato, and Z. Ma, "A fully canonical bandpass filter design using microstrip transversal resonator array configuration," *IEICE Trans. Electron.*, vol.E99-C, no.10, pp.1122-1129 (2016).
- 濱野竜飛, 馬 哲旺, 大平昌敬, "短絡スタブを用いた超広帯域帯域通過フィルタの小型設計と阻止域特性の改善," 信学論 C, vol.J99-C, no.12, pp.618-624 (2016).
- 山下 青, 大平昌敬, 馬 哲旺, 王 小龍, "結合行列を基にしたニューラルネットワークによるマイクロストリップパラレル結合 BPF の自動設計," 信学技報, vol.116, no.363, MW2016-156, pp.135-140 (2016).
- 富田 諒, 大平昌敬, 馬 哲旺, 王 小龍, "入出力線路に損失を有するマイクロストリップ BPF の結合行列抽出法の改善," 信学技報, vol.116, no.363, MW2016-157, pp.141-146, (2016).
- 宮崎寿基, 大平昌敬, 馬 哲旺, 王 小龍, "アンテナ-共振器間の飛越結合を用いた有極形フィルタリングアンテナの設計," 信学技報, vol.116, no.432, MW2016-180, pp.41-46 (2017).

- Yuki Inada, Kaiho Aono, Ryo Ono, Akiko Kumada, Kunihiko Hidaka and Mitsuaki Maeyama, “Two-dimensional electron density measurement of pulsed positive primary streamer discharge in atmospheric-pressure air”, *Journal of Physics D: Applied Physics*, Vol.50, No.17, 174005 (2017)
- Tomoaki Yago, Kei Ishikawa, Ryuzi Katoh, Masanobu Wakasa, "Magnetic Field Effects on Triplet Pair Generated by Singlet Fission in an Organic Crystal, "Application of Radical Pair Model to Triplet Pair," *J. Phys. Chem. C*, 120(49), pp.27858 - 27870 (2016).
- 宮本祥太, 渡邊鉄也, 鞆田顕章, “Rocking vibration with friction,” 日本機械学会論文集, Vol.82, No.838, pp.16 - 61,(2016).
- 宮本祥太, 渡邊鉄也, 鞆田顕章, “Behavior of the string considering axial elongation,” 日本機械学会論文集, Vol.82, No.839, pp.16 - 63, (2016).
- 陳焜, 小室孝, 榎本洗一郎, 戸田真志, 手塚尚明, “水中動画像からの浮遊物の追跡と除去,” ビジョン技術の実利用ワークショップ (ViEW 2016) 講演論文集, pp.209-212 (IS1-32) (2016)
- Kuniyuki Kugenuma, Takashi Komuro, Bo Zhang, Keiichiro Kagawa, Shoji Kawahito, “Depth Map Estimation and Restoration of an Improved-quality Image from Multi-aperture Images,” 映像情報メディア学会技術報告, Vol. 40, No. 40, pp. 3-4 (IST-2016-49) (2016)
- 久下沼国之, 小室孝, 張博, 香川景一郎, 川人祥二, “低SNR マルチアパーチャ画像からの視差推定と画像合成,” 日本光学会年次学術講演会 *Optics & Photonics Japan 2016 (OPJ 2016)* 講演予稿集, 31aES9 (2016)
- Ming Li, Takashi Komuro, “Accurate Distance Estimation of a Preceding Vehicle Using High-speed Stereo Video Images,” 平成 28 年電気学会電子・情報・システム部門大会 講演論文集, pp. 1414-1415 (SS2-9) (2016)
- 杉浦陽介, 島村徹也, “適応 IIR ノッチフィルタの高速・高精度な単調増加勾配アルゴリズム,” 電子情報通信学会論文誌, Vol.J99-A, No.10, pp.391-398 (2016).

- M. S. Hossain and T. Shimamura, "Low-Complexity Null Subcarrier-Assisted OFDM PAPR Reduction with Improved BER," *IEEE Communications Letters*, Vol. 20, No.11, pp.2249-2252 (2016).
- M. S. Hossain and T. Shimamura, "Enhanced OFDM Performance with Pilot-Aided Reduced Peak-to-Average Power Ratio," *Journal of Signal Processing*, Vol.21, No.1, pp.1-13 (2017).
- M. A. Rahman, Y. Sugiura, T. Shimamura and H. Makinae, "LP-Based Quality Improvement of Noisy Bone-Conducted Speech," *IEEJ Trans. Electronics, Information and Systems*, Vol.137, No.1, pp.197-198 (2017).
- K. Ishiyama, Y. Sugiura and T. Shimamura, "Optimized Three Scores Combination for Image Quality Assessment," *Proceedings of IEEE Asia Pacific Conference on Circuits and Systems*, pp.5-8 (2016).
- E. Ogawa, Y. Sugiura and T. Shimamura, "Narrowband Interference Suppression with Symbol Interleaving for UWB Communication Systems," *Proceedings of IEEE Asia Pacific Conference on Circuits and Systems*, pp.172-175 (2016).
- S. Asawa, Y. Sugiura and T. Shimamura, "Speech Envelope Estimation and Voiceless Consonant Restoration for Artificial Bandwidth Extension of Narrow Band Speech," *Proceedings of IEEE International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems*, 6 Pages (2016).
- K. Mitani, Y. Sugiura and T. Shimamura, "Cross-Correlation Functions with Binary Signal Involving Phase Information for Speech Enhancement," *Proceedings of IEEE International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems*, 5 Pages (2016).
- M. Ogura, Y. Sugiura and T. Shimamura, "SVD Based Audio Watermarking Using Angle-Quantization," *Proceedings of IEEE International Conference on Electrical, Computer and Communication Engineering*, pp.119-122 (2017).

- T. Zhou, Y. Sugiura and T. Shimamura, "Iterative Extended Spectral Subtraction for Restoration from Image Degraded by White Noise," *Proceedings of IEEE International Conference on Electrical, Computer and Communication Engineering*, pp.239-243 (2017).
- S. Zhang, Y. Sugiura, T. Shimamura and H. Makinae, "Fundamental Frequency Estimation Combining Air-Conducted Speech with Bone-Conducted Speech in Noisy Environments," *Proceedings of IEEE International Conference on Electrical, Computer and Communication Engineering*, pp.244-247 (2017).
- I. Sikder, P. K. Dhar and T. Shimamura, "A Semi-Fragile Watermarking Method Using Slant Transform and LU Decomposition for Image Authentication," *Proceedings of IEEE International Conference on Electrical, Computer and Communication Engineering*, pp.881-885 (2017).
- M. Hijikata, Y. Sugiura and T. Shimamura, "Musical Noise Suppression for Spectral Subtraction Using Histogram of Power Spectrum," *Proceeding of RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing*, 4 Pages (2017).
- M. Geng, Y. Sugiura and T. Shimamura, "Noise Subtraction and Pitch Synchronous Addition for LPC Analysis of Noisy Speech," *Proceeding of RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing*, 4 Pages, (2017).

平成28年 大判プリンタ利用状況

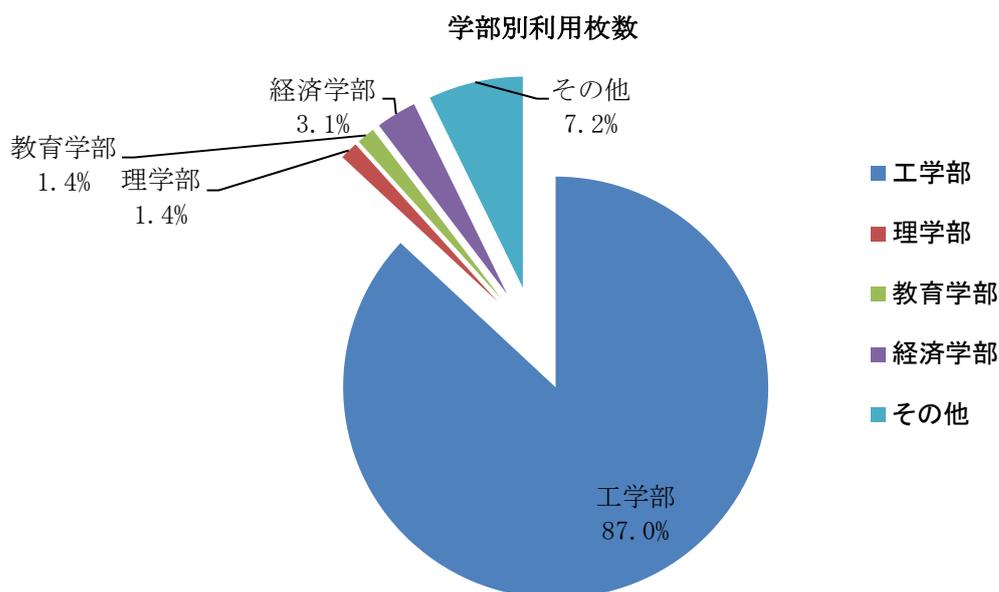
大判プリンタは情報メディア基盤センター2F に設置されています。
学会用ポスターの作成等にご活用ください。

利用対象者 本学の教職員および教職員の許可を得た学生
利用料金 1枚1000円
印刷サイズ B0サイズまで

学部・学科別利用状況

学部など	学科など	利用人数	利用枚数
工学部	応用化学	24	39
	機械工	29	53
	機能材料工	36	63
	建設工	18	30
	情報システム工	20	26
	電気電子システム工	30	43
理学部	物理	2	4
教育学部	連合大学院教育学研究科	1	1
	教育学部	2	3
経済学部		1	9
研究機構	URAオフィス	5	9
	総合技術支援センター	3	6
研究協力部	研究協力課TTオフィス	1	4
その他	サイテクカフェ	2	2
合計			292

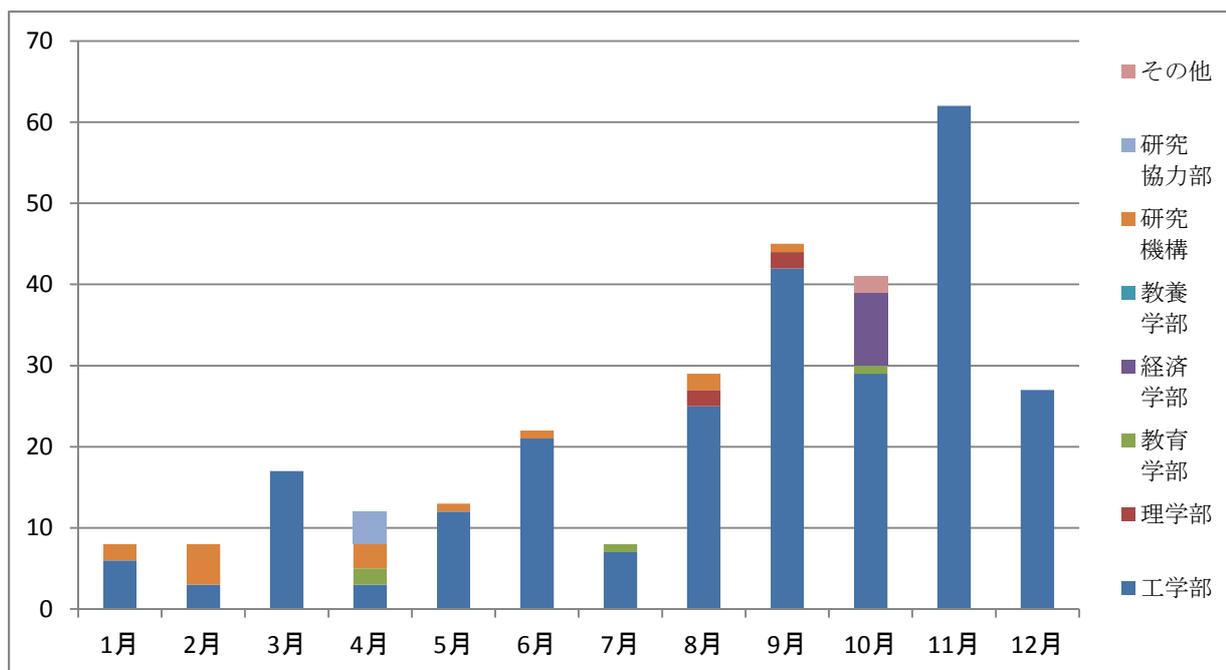
※工学部・理学部には理工学研究科を、教育学部には教育学研究科を含みます



月別・部局別 利用状況

部局 月	工学部	理学部	教育学部	経済学部	教養学部	研究機構	研究協力部	その他	合計
1月	6					2			8
2月	3					5			8
3月	17								17
4月	3		2			3	4		12
5月	12					1			13
6月	21					1			22
7月	7		1						8
8月	25	2				2			29
9月	42	2				1			45
10月	29		1	9				2	41
11月	62								62
12月	27								27
合計	254	4	4	9	0	15	4	2	292

※工学部・理学部には理工学研究科を、教育学部には教育学研究科を含みます



大判プリンタの利用は事前申請は不要です。直接、センター事務室へご来室下さい。

センター窓口受付時間：平日 8:30～16:30 (12:15～13:15 を除く)

プリンタ利用時間：平日 8:30～17:00 【※時間内にご退室ください】

大判プリンタの詳細は、下記をご参照ください。

http://www.itc.saitama-u.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=2



HP Designjet
T2300ps

情報メディア基盤センター教職員名簿

(平成29年3月)

センター長

伊藤 和人 兼任教員 kazuhito@mail.
(理工学研究科数理電子情報部門)

センター教員

島村 徹也 専任教員 shima@sie.ics.
田井野 徹 専任教員 taino@super.ees.
吉浦 紀晃 専任教員 yoshiura@fmx.ics.
堀山 貴史 兼任教員 horiyama@al.ics.
(理工学研究科数理電子情報部門)

システム管理室

南雲 浩二 技師 nagumo@ics.
小川 康一 専門技術員 kogawa@mail.
齋藤 広宣 専門技術員 hsaito@mail.
天野 直子 派遣職員 namano@mail.

事務

村松 美由起 事務補佐員 muramatsu@mail.
市岡 和代 事務補佐員 ichioka@mail.
梅津 寛美 事務補佐員 h12111967@mail.
(saitama-u.ac.jp 省略)

時間外オペレータ業務担当 (任期：平成28年4月 ～ 平成29年3月)

瀬本 宗久 理工学研究科博士前期課程1年次
伊達 弘明 理工学研究科博士前期課程1年次
水無 浩一 理工学研究科博士前期課程1年次
畠山 聡起 理工学研究科博士前期課程1年次
浅和 駿 理工学研究科博士前期課程1年次

埼玉大学情報メディア基盤センター規程は、ホームページを参照して下さい。

URL <http://www.saitama-u.ac.jp/houki/houki-n/reg-n/2-2-20.pdf>

編集後記

当センターの窓口には様々な相談事を抱えた学生がやってきます。その中には「パソコンは詳しくないので…」とおずおずと前置き(あるいは堂々と宣言)し、人差し指一本でキーボードを打つ学生が少なからずいます。指一本での操作は“スマホ”の影響だろうと思う一方で、首を傾げたくもなります。彼らは中学校や高校でパソコンを習ったのではないのでしょうか?そうでなくとも、大学の講義ではパソコンを使っているはずですが。パソコンの習得環境に恵まれているはずの彼らは、なぜ「パソコンに詳しくない」のでしょうか。

パソコンの世帯保有率が73%※となった今日、パソコンを授業に組み込む小中学校も増えてきているようです。けれども今やインターネット利用の主要ツールはスマートフォンになりつつあります。ちょっとした調べものや友達同士の連絡、道案内から暇つぶしのゲームまで、すべて“スマホ”1台でできるとなれば、スマートフォンを使いこなす彼らにとって、もはやパソコンは不要なのかもしれません。そもそも、授業として強制されれば却って興味が失せる、というのは真理に思えます。こうした状況下では、彼らが真に必要な性を感じてパソコンを習得するのは、就職後の話になりそうです。

とはいえ、スマートフォンの世帯保有率は既に71.8%※。かなりのスピードで普及していること、今後は“スマホ世代”が社会へ進出していくことを考えれば、“スマホ”がパソコンにとって代わる日も近いかもしれません。パソコンそのものがなくなるとは考えにくいことですが、スマートフォン寄りに使い勝手が変化していくことはあり得そうです。

ますます加速していくでしょうそうした変化に戸惑わないように、パソコンもスマートフォンもどちらも使いこなせるようになりたい、できることなら手書きの文字もきれいでありたいと、欲張りなことを思う日々です。

さて、今年も表紙には附属幼稚園から園児たちの絵をご提供いただきました。画材はクレヨン。様々なものが目まぐるしく変化する中で、長年変わらないものを見るとわけもなくホッとします。園児たちもすぐにクレヨンをペンに持ち替え、やがてはスマートフォンを手にするようになるのでしょうか。あるいはまだ見ぬ新しい機器を自在に使いこなしているかもしれません。これからの社会を担う彼らには、ぜひとも欲張りであってほしいものです。

末尾となりましたが、論文をご投稿くださった方、表紙絵をご提供くださった附属幼稚園の園児たちと教職員の方々、年報作成にご協力くださったすべての方に厚く御礼申し上げます。

※ 総務省通信利用動向調査 平成28年調査(平成29.06.08公表)
http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/170608_1.pdf

埼玉大学情報メディア基盤センター年報

『さいたま』

Vol.24 2017.8 (平成 29 年)

発行者 埼玉大学情報メディア基盤センター

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

電話 048-858-3674

Email itc@ml.saitama-u.ac.jp